



▲もうすぐうれしいお正月 地域ぐるみでもちつき大会（加治木町 須崎自治会）

かごしま あいら 市議会だより

No.15 12月定例会
平成26年1月31日発行

一般
質問

18人が市政を問う
6

追跡
空き家バンク制度
15

第3回
議会と語る会
16

森山家の保存基金
500万円
4

一般会計補正予算 1億779万3千円

予算総額は 284億834万9千円



▲ぼくん家から絶対火事はありません（始良幼年消防隊）

第4回定例会は、11月25日から12月18日までの24日間の会期で開かれました。

平成25年度一般会計・特別会計補正予算、条例制定2件、改正2件、陳情1件、議員発議（市議会委員会条例改正）1件、公の施設の指定管理者の指定5件、人事案件（人権擁護委員）2件を審査しました。

提案された議案は、すべて原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算の歳入内訳は、

- ① 国県補助金4751万4千円
- ② 寄付金500万円
- ③ 雑入25万円
- ④ 一般財源5502万9千円です。

歳出の概要は、

- ① 介護保険特別会計繰出金2640万8千円
- ② 住宅用太陽光発電設置補助金1000万円
- ③ 林道専用道路開設工事費3520万円
- ④ 有害鳥獣捕獲事業補助金118万6千円
- ⑤ 不妊治療助成金180万円などが主なものです。

消費税率・地方消費税率の法改正に伴う条例制定

平成26年4月1日から施行される消費税率、および地方消費税率引き上

げに伴う、関係条例の整備に関する条例を制定しました。

また、国の有形文化財指定の「森山家」が寄贈され、ご遺族からの寄付を受けて、保存整備基金条例を制定しました。

（詳細は4ページ）

陳情1件を審査

始良市地域自立支援協議会「子ども部会」設置に関する陳情書が提出されて、市民福祉常任委員会が審査しました。

（詳細は5ページ）

市所有の5施設の指定管理者を指定

今回は、契約期限が切れる蒲生観光交流センターなど5施設の指定管理者を指定しました。

（詳細は5ページ）

第3回語る会を開催

第3回議会議と語る会は、加治木地区永原校区公民館、蒲生地区川東地区いきいき交流センター、始良地区中津野自治公民館で開催しました。

（詳細は16ページ）



新年のごあいさつ

議長 玉利道満

新年明けましておめでとうございます。

去年は、原発の汚染水漏れ、東日本震災からの復興の遅れなど、多くの課題を積み残しました。一刻も早い対応を切に望むものです。

始良市議会は、これまで議会基本条例の制定をはじめ、議員定数の見直し、委員会の在り方、広報活動の充実など多くの課題に取り組み、市民の負託に応える議会を目指し努力してまいりました。

基本条例に基づいた「議会と語る会」は、旧町ごとに延べ9回実施し、改選後の議員定数の検討では、市政の課題や市民のアンケート結果を踏まえて24人としました。新しい議員定数をもとに常任委員会は、現在の4委員会から3委員会に見直しました。

また、全議員で構成する「広報・広聴特別委員会」を設置し、「議会だより」と「議会と語る会」を充実して、より親しまれる議会を目指します。

今年4月20日には、市長と市議会議員にとって皆様から信を問われる選挙が行われます。

新年を迎えて、全議員が皆様の負託に応えるよう決意を新たにしております。

変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

補正

暮らしやすいまちづくり

県内一暮らしやすいまち「始良市」をめざして身近な事業をピックアップしました。

住宅用太陽光発電設置補助金1000万円

25年度当初予算で200万円計上していましたが、今回1000万円追加しました。

質疑 これまでの設置数

と今後の設置見込を示せ

答弁 これまでの実績は

198基、今後の設置数

を100基見込んでいます。

質疑 補助対象はどうな

っているか。

答弁 市内に自ら居住す

る住宅に、太陽光発電設

備を設置した方が対象。

質疑 設置補助金の交付が遅いという苦情があるが、理由を示せ。

答弁 厚労省の事務手続きに2か月、九電の手続きに2か月を要するため、交付が遅くなる。

質疑 設置補助金の交付が遅いという苦情があるが、理由を示せ。

答弁 厚労省の事務手続きに2か月、九電の手続きに2か月を要するため、交付が遅くなる。

林業専用道路開設工事 3520万円

この林道は、県民の森

から北側の霧島市溝辺町

境に位置する北山フノ木

地区内で、基幹作業道フ

ノ木線を起点として、幅

員3.5m、延長1600m

から北側の霧島市溝辺町境に位置する北山フノ木地区内で、基幹作業道フノ木線を起点として、幅員3.5m、延長1600m

を計画して、現在平成24年度の繰越工事を実施している。

質疑 林業専用道路とは

どのような規格か。

答弁 10トトラックが設

計速度15kmで走行できる

最低限度の規格・構造で

ある。

森山家より寄付金 500万円

加治木町朝日町の森山

イツ子様のご遺族から、

500万円の寄付をいた

だきました。

「森山家」は、加治木町朝日町にある江戸時代から続く豪商でした。

代々鋳物業を営み、島

津斉彬公の集成館事業に

貢献したと言われており、

平成19年度に国の有形文

化財に指定されています。

イツ様が死去されて、

家屋および敷地が始良市

に寄贈され、その後ご遺

族から寄付がありました。

寄付金は基金として、

庭木の剪定など管理費に

活用します。



▲住宅用太陽光発電設置補助金を受けませんか

条例

森山家(加治木)の保存基金 500万円



▲ 価値ある文化財として継承される森山家の全景

加治木町朝日町172番地にある森山家およびその周辺整備の財源に充てるため基金を設けます。敷地内の主屋、土蔵、旧作業場が国の登録有形文化財となっており、家主が亡くなられ、昨年度

末に市に寄贈されていた。本年度になり、相続人から、維持・管理等に係る経費にあててほしいと、500万円の寄付を受け、それを基金とします。

※森山家は、代々鋳物師の家として家業を営んできましたが、金山や水田開発にも財力を注ぎ、業種も手広く経営した有力な豪商です。

消費税率引き上げに伴う施設使用料の改正

平成26年4月1日から施行される消費税率引き上げに伴ない、電気料金や光熱費などの施設管理費用の上昇が確実に見込まれることから、税率の上昇分を使用料等に反映させるものです。

具体的には、現在の消費税を含む使用料を5%で割り戻した原価相当額に、新しい8%を加える方法で基本的に算出して各施設使用料等を決定しました。

その3%の影響額は、市全体で1年間におよそ4000万円になります。詳細は市広報紙・ホームページ等でお知らせします。

市議会常任委員会の名称と人数

議員定数を30人から24人に改めたことにより、市議会常任委員会の名称、委員定数および、その所管は左表のようになります。

委員会名と人数・所管

総務常任委員会	8人
議会事務局、総務部、企画部、消防本部、会計課、選挙管理委員会、監査委員および公平委員会の所管に関する事項ならびに他の常任委員会の所管に属しない事項	
文教厚生常任委員会	8人
市民生活部、福祉部および教育委員会の所管に関する事項	
産業建設常任委員会	8人
農林水産部、農業委員会、建設部および水道事業部の所管に関する事項	
議会運営委員会の定数は、8人とする。	

人権擁護委員に同意



黒江 景文氏
(鍋倉 72歳再任)



西 尚美氏
(新生町 59歳再任)

任期は法務大臣が委嘱した日から3年

陳情

採択



▲楽しかったサマースクール

主旨 平成25年8月「始良市地域自立支援協議会」が設置されました。

協議会については、子どもの現状を把握した関係者・当事者による「子ども部会」の設置が不可欠であると考えます。

この「協議会」が実りあるものになるよう陳情いたします。

1 障がいをもつ子どもの課題を把握し、対応や施策に反映していくために、この協議会に「子ども部会」を設置すること。

2 「子ども部会」は、具体的な当事者や保護者の声を吸い上げられるよう、意見交換会などを開催して、活性化し充実したものになるようにすること。

3 「子ども部会」の構成メンバーに、当会からの委員をはじめ、地域の実態に合った関係者等を配置すること。

始良市地域自立支援協議会に「子ども部会」を設置

提出者 始良市障がい児の放課後
長期休暇を豊かにする会

代表 松岡 奈美

賛成討論 竹下日出志

この会の皆様は、子どもたちとコミュニケーションを大切にする学童保育を望んでいる。

また、子どもたちが安心して暮らせる地域づくりに、保護者の声を生かす協議会を願っている。

賛成討論 里山和子

始良市では2月に地域自立支援協議会が開かれ、「子ども部会」が設置される予定だが、当事者である保護者が入っていない。東京都狛江市では2人が参加している。始良市でも保護者を入れる必要がある。

指定管理者を更新

既に指定管理者制度により、管理運営されている以下の5施設の指定期間が、26年3月31日で満了になります。4月1日以降も運営を更新するため、指定管理者を指定しました。期間はいずれも、平成31年3月31日までの5年間です。

指定された指定管理者

対象施設	所在地	指定管理者
① 始良市蒲生観光交流センター	蒲生町	株式会社JTBコミュニケーションズ九州
② 始良市蒲生観光交流センター(別館)	蒲生町	株式会社JTBコミュニケーションズ九州
③ 始良市蒲生ふるさと交流館	蒲生町	特定非営利活動法人Lab蒲生郷
④ 始良市働く女性の家	西餅田	株式会社総合人材センター
⑤ 始良市文化会館(加音ホール)	加治木町	公益財団法人始良市文化振興公社



始良市文化会館



始良市働く女性の家



始良市蒲生ふるさと交流館



始良市蒲生観光交流センター(別館)



始良市蒲生観光交流センター

防災訓練

総括と課題

市長／防災意識の高揚と連携の確認



和田里志議員

和田 はじめて行われた大規模な防災訓練の総括と課題、有床診療所等の火災対策はどうするか。

市長 総合防災訓練により市民のさらなる防災意識の高揚が図られ、防災関係機関等との相互連携の確認はできた。災害発生直後は、自主



▲土砂災害にあった車からの救助訓練

防災組織の果たす役割がますます重要となるため、その育成と強化に努めた

い。消防用設備等の点検対象物は、266棟あるが、約80%の報告がなされている。点検報告がなされていない対象物については、立ち入り検査等指導している。

警察署移転 環境と整備
市長／始良・伊佐地域振興局と協議

和田 新しくできる始良警察署周辺の環境・道路整備はどうするか。

18人が

問う



湯川逸郎議員

湯川 地域経済の活性化に資するとともに、市民の憩いの場として活用する物産館建設について問う。

物産館建設

地域経済の活性化に

市長／地産地消の推進を期待

市長 現在、用地選定を進めており、場所が決定したら、物産館建設委員会を設置する。農林水産物の安定的な需給バランス確保に努めて、生産者の生産意欲の向上、新規就農者の確保や育成、そして地産地消の推進につながるもの期待している。

湯川 携帯電話やインターネットの有害サイトから、子どもたちを守るための方策を構築する必要があるのではないかと。教育長 子どもの教育に第一義的な責任を有するのは保護者である。今後一層、家庭教育の役割と責任が十分に果たされるよう、子育てに関する情報提供に努め、保護者同士や保護者と学校、地域、事業所の情報交換および学習の機会の充実を努める。

有害サイトから子どもを守る
教育長／家庭教育の役割と責任



▲巡回バスも一役
買い物客でにぎわう ぐすくす館

企 業

イオンタウン(株)の進出

市長／鋭意取組みを進められている



田口幸一議員

田口 イオンタウン敷地内でのボーリング調査を終了したとのことだが、いつ着工するのか。市長 平成27年春の開業

を目指して、鋭意取り組まれていると考える。着工時期は、建物の建設に約8か月の期間を要することであるので、相応の時期にされると考える。田口 雇用はどのような計画か。市長 従業員総数としては、約1千人程度になると聞いている。田口 初期投資額約36億



▲イオンタウン(株)進出予定地

一般質問

市政を

女性の社会進出

支援を強化せよ

市長／国の新制度で検討



森 弘道議員

森 本市における、女性の雇用の実態と今後の状況、女性の感性を生かしたまちづくり、無認可保育所に対する支援を強化する考えはないか。市長 現在各種企業の進出があり、雇用状況は改善の傾向にある。各種審議会等女性の登用率は現在22・8%で、今後も政策反映に取り組みたい。無認可保育所に対する支援は、27年度から国が待機児童解消のために、財政支援するので併せて検討する。

森 五社神社前の点滅信号の交差点は、危険で人身事故も発生している。正規の信号に切り替えることはできないか。市長 この交差点は大変見通しの悪い所であり、主要幹線道路として、交通量の多い箇所と把握している。始良警察署も改良を要するとして、24年と25年にわたり、警察本部に上申しているところである。市としても要望を続ける。

五社神社前信号の改良を急げ
市長／要望を続ける



▲女性の雇用と子育て支援を

エネルギー問題

街づくりの中のエネルギー政策

市長／太陽光発電装置を設置



本村良治議員

本村 街づくりの中でエネルギー政策はどのように生かされているか、具体的に説明せよ。

市長 全ての中学校の屋根に太陽光発電装置を設置し、一部の都市公園にも太陽光発電装置付き屋外灯を設置した。

環境への影響を最小限に抑え、災害時の電気供給源として、太陽光発電の効果を感じてもらえる街づくりを目指している。



▲太陽光発電装置付屋外灯

給食在り方検討委員会の審議の公開

教育長／ホームページに掲載

本村 学校給食在り方検討委員会が設置されて、2年近く過ぎた。ほとんど審議内容が、明らかにされていない。審議内容を公開せよ。

教育長 これまでの委員会は、意思形成過程にあつたために、一般には公開しなかつた。

今後は、最終的なまとめの段階に入るので、委員会の了解をとり、ホームページに掲載する。

辺川地区への災害意識が薄い

市長／訓練等を行う

自然・人為災害

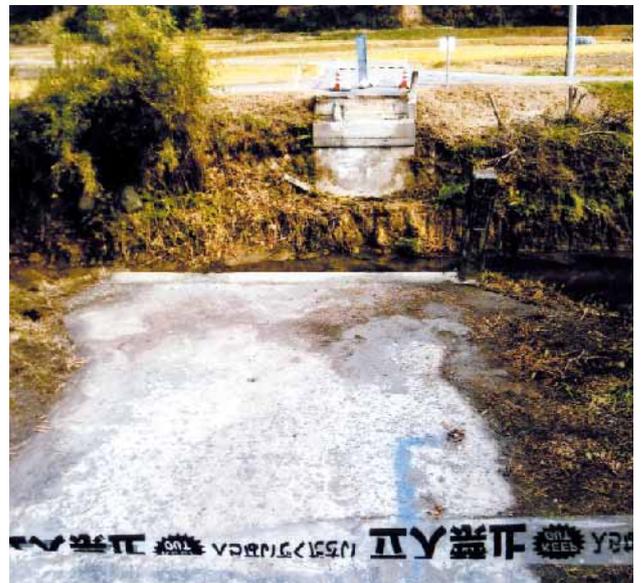


堂森忠夫議員

堂森 辺川地区上流の竹山ダム決壊等に備えた訓練の記憶がないが、辺川地区への自然・人為災害意識が薄いのではないか。

ダム災害の避難道路として、市道菖蒲谷・辺川線の整備を図れ。

豪雨自然災害・崩壊した辺川栗脇橋の拡幅等や



▲流出した辺川栗脇橋の拡幅と復旧工事を図れ

復旧工事を図れ。

市長 住民避難訓練等は実施していない。今後、竹山ダム管理規程の見直しや、避難方法・避難経路等を協議し、訓練等を行っていく。

指摘の避難道路としての整備は考えていないが、栗脇橋は国との協議が進行中で、工事は次年度への繰越工事になる。

観光と滝周辺整備

市長／観光客増に努める

堂森 NPO団体と連携

しての活動等を拡大して、観光客増に努めよ。

西別府線沿いの鬚滝^{ひげたき}周辺整備の目的は何か。

市長 積極的なPR展開や維持活動をNPO法人などと連携を図り、観光客増に努める。

鬚滝は滝が見えるようにとの地区要望に応えたが、観光素材として興味深いものと考える。

その他の質問

○急傾斜地対策

認知症

早期発見と対応

市長／関連機関と連携



河東律子議員

河東 認知症は早期発見し対応することで、在宅での生活も可能になる。本市での対応と、今後どのように進めていくのか。
市長 市民からの相談には、主治医や「認知症サポート医」「もの忘れの相談ができる医師」など



▲認知症の方を地域で見守る勉強会の輪が広がっています

の関連機関と連携をとりながら対応している。今後さらには、認知症サポーターの養成や徘徊模擬訓練などを充実させ、認知症への理解・サポートをもらう市民を増やしていく。

空き家条例をつくれ
市長／法律の成立を待つて検討

河東 空き家の適正な管理を行うため、空き家条例を作ったかどうか。

市長 「空き家条例」の制定は、管理不十分な空き家について、市が所有者に助言、指導および命令を行う有効な手段と考える。

今、臨時国会に空き家対策の法律案が予定されているとの情報もあるので、法律の成立を待つて検討していきたい。

その他の質問
○学力向上への取り組み

船津浄水場

安全対策を確保せよ

市長／26年度予算で対処する



笹井義一議員

笹井 始良市は人口7万2千人に年間870万トの飲料水を供給している。船津浄水場は、市道から20数mの位置にあり、屋根や外周の覆いがなくむき出しで、異物投入が容易にできると思われる。安全対策について市長の考えを示せ。
市長 24年度に防犯カメラを4台設置し、25年度には21か所にセンサーを設置したが、異物投入を想定したテロ等の危機管理には十分でなく、安全対策を急ぐ必要がある。



▲早急な安全確保対策が必要な船津浄水場

笹井 いつの時点でもどのような対策を講じるか。
市長 平成26年度予算で、樹脂製品による覆いを設置したい。

建昌城跡地の維持管理と活用
教育長／本格的な発掘調査が必要

笹井 跡地は管理事務所と駐車場を設置し、市民

農園を開設して、市民の憩いの場になっている。遊歩道や広場等は当時のまま管理されているが、どのように活用するのか。
教育長 将来国指定史跡を目指す。歴史や文化財を活かした史跡整備には本格的な発掘調査の時間が必要である。

教育環境

校舎等の施設整備

教育長／26年度から長期的な整備計画



神村次郎議員

神村 児童生徒が1日の大半を過ごす学校の教育施設、老朽化の進む校舎等の学校施設の長期的な整備計画はどうなっているか。

教育長 市内の28の幼稚園を含む学校施設は、老朽化が進んでいる。現在、外壁改修等の非



▲現在使用されている木製の机・椅子

構造部材の耐震化を含め整備を進めている。大規模改修等の長期的な整備計画の策定を26年度から着手したい。

木製の机・椅子の新規購入 教育長／スチール製に更新

神村 加治木地区の学校は、木材使用の促進のため、木製の机・椅子を導入してきた。老朽化が進み新規購入が必要だが、今後の計画はどうなるか。
教育長 平成14年度から導入してきたが、木製の机・椅子は重く、児童が

持ち運びするのに苦労するので配慮してほしいとの要望があり今後、機能性を重視して、段階的にスチール製に切り替えていきたい。

その他の質問

- 学校施設のバリアフリー化
- 水道施設の管理
- 国道10号渋滞対策
- 特別支援教育支援員の処遇改善

川辺 育英事業基金の使用は貸与に限定されているか。
教育長 始良市育英資金条例に基づき運用され貸与に限定されている。
川辺 基金額は貸与中の分も含んでいるか。
教育長 基金総額は平成24年度末現在で2億534万円であり貸与中の分も含まれている。
川辺 実績ベースでの貸与者総数、貸与金額を示せ。
教育長 平成24年度末現在で貸与者総数は47人で貸与額は1360万円と



▲奨学金申込み窓口の教育委員会総務課

育英事業基金

貸与金額の引き上げ

教育長／考えていない

川辺 滞納者の累計総額金額、貸与者に対する比率を示せ。
教育長 24年度末で償還中の方が129人で20パーセントである。旧3町での貸与者への

なっている。

総額は846万8千円である。
川辺 貸与金額を高校生・大学生ともに引き上げはできないか。
教育長 県内の自治体は、ほぼ同じような育英資金の貸与額であり、引き上げは考えていない。

災害

浸水対策

市長／市全域の総合的な対策



吉村賢一議員

なおしが必要な地区もあり、市全域の総合的な対策が必要と考える。

県立体育館誘致

市長／関心が示されれば検討

吉村 港町は商業・工業地域、須崎は工業・スポーツ地域という捉え方で

吉村 市内平野部低地部の浸水対策はどうか。
市長 加治木地区は平成15年度に排水対策計画を策定した。

港町は浸水のおそれなく道路整備の際併せて排水路を改良する。

加音ホール西は放水路の整備中。開発地の盛り土、排水計画は申請者において適切に調査設計がなされていると考える。

山野は排水路勾配が緩く要所にヘドロ除去の深みをつけることは難しい。松原は市街地排水基礎調査をしたが、計画にみ



▲空地の広がる港町一帯

県立体育館を須崎地区に誘致する考えはないか。
市長 県において須崎用地を含め始良市内の別の場所に関心が示されれば検討するが、市としては港町の核となる施設の誘致で地域を衰退させないことが第一と考える。

その他の質問 ○公共交通

高齢者対策を優先せよ

市長／痛みはあるが、まずは制度を統一

ごみ問題



小山田邦弘議員

小山田 出前講座でごみ削減の啓発はできないか。
市長 蒲生地区での講座は好評で、今後も要請には応えていく。
小山田 蛍光灯の回収で従来、協力店制度があった加治木地区も地域で回収するよう統一された。



▲ごみだし、資源回収の制度変更前に高齢者対策が必要

健康者は市税で処分し、自分で取り替えられない、回収場所に行けない高齢者などの買物弱者は電気店で処分費を支払うことになる。

制度変更前に高齢者対策を進めるべきではないか。

市長 制度を揃える過渡期は不備が生じ、心を痛めることもある。

そこで止めては統一できない。まず統一し、次に市民ニーズを生かしていきたい。

バリアフリー観光

市長／観光基本計画でも促進

小山田 バリアフリー観光の育成や車いすに引き手を装着するJINRIKIの導入は図れないか。

市長 策定中の観光基本計画の中でバリアフリーの促進を掲げている。

JINRIKIは災害時の避難や観光地での移動に威力を発揮できるものと考え、今後調査研究する。

心の健康対策

こころの体温計

市長／今後検討する



竹下日出志議員

竹下 こころの体温計は、携帯電話やパソコンから

進捗委員会でも協議を進めており、こころの体温計を導入手続きは、心臓の健康状態が分かります。赤ちゃんママモード 産後の不安な心の健康状態が分かります。アルコールチェックモード 飲酒が心にもどのような影響を与えているのかが分かります。ストレス対策タイプテスト あなたのストレス解消法はどのタイプ？

▲ホームページにこころの体温計導入急げ

温計のホームページへの導入は、今後検討する。

HUG(避難所運営ゲーム)
市長／今後検討する

竹下 HUG (ハグ) 抱きしめる (H 避難所・U 運営・G ゲーム) は、避難所の運営を皆で考えるための方法として静岡県が開発したものである。

質問に答えるだけで、ストレス度や落ち込み度など、心の状態をチェックできるシステムである。本市のホームページに、こころの体温計を導入する考えはないか。

市長 心の健康づくり推進検討委員会でも協議を進めており、こころの体温計を導入手続きは、心臓の健康状態が分かります。赤ちゃんママモード 産後の不安な心の健康状態が分かります。アルコールチェックモード 飲酒が心にもどのような影響を与えているのかが分かります。ストレス対策タイプテスト あなたのストレス解消法はどのタイプ？

その他の質問
○子育て支援
○予防を重視した健康づくりの推進

市民に満足いく市政か

市長／市民満足度調査を実施

合併の検証



湯之原一郎議員

湯之原 始良市が誕生して、間もなく4年が経過する。合併協定事項や旧3町の思いが着実に履行され、市民に満足いく市政になってきているのか、検証を加えることも必要ではないか。

森林・林業・木材産業の振興策
市長／木材利用拡大を図る

湯之原 「森林の活用や整備計画」「木材の利用拡大」など森林・林業・木材産業の振興策を、市政運営の中でどう位置づけていくか。



▲林内作業で活躍する高性能作業機械

市長 森林は本市の財産であり、山を守り育てることが大切であると考え

地元材の有効活用を図るため、くすの湯の重油ボイラーを木質バイオマスボイラーに切り替える計画であり、木材利用拡大に向けて対応したい。

その他の質問
○市章の取扱い

国保税

一世帯1万円の値下げ

市長／考えていない



里山和子議員

里山 国保税が高くて払えず、短期保険証586件、資格証明書272件もあり、年金は削られ介護保険料も負担が重い。一般会計からの繰り入れを増やして一世帯1万円の値下げはできないか市長 一世帯当たり1万円の国保税額の減額をす



▲民間委託で環境問題が心配されるあいら清掃センター

ると、減額相当額は1億1千万円を超える額となる。国保財政にとつて大きな影響額となっていることから、現段階では考えていない。

一般廃棄物処理施設運営管理の包括的民間委託
市長／内容等が決まってから議会に諮る

里山 あいら清掃センター、あいらクリーンセンターの三施設を「包括的民間委託」方式で検討したと11月11日、市民福祉常任

その他の質問
○重富駅と駅裏周辺整備

委員会では説明があった。どうして議会全員協議会に諮って意見を聞かないのか問う。
市長 今後、環境保全対策委員会に説明し、内容等が具体的に決まってから全員協議会に諮りたいと説明している。

この踏切は、幅員が狭いため、直進、右折車が交錯し、踏切内で車が滞留した場合、列車との事故等になりかねないため、進入については、安全性



森川和美議員

道路行政

地蔵橋踏切開放はいつか

市長／JR九州と協議中

の確保のため、交通規制されている。現在、踏切拡幅に向け、JR九州と協議を行い、今年度は測量設計を実施している。

墓地管理組合の管理
市長／形態はさまざま

森川 旧パワーズの地蔵橋踏切の両サイドの右折左折はいつになるのか。市内全体に交通渋滞箇所が増えていくが、何路線ぐらいあると認識しているか。



▲一日も早い開放を!! (旧パワーズ前)

負担はどうなっているか市長 本市の墓地事情は、合併前後で大きな変化はなく、墓地管理組合、宗教学法人等の民間による墓地管理、また個人所有の墓地もあり、その管理形態はさまざまである。また、個人負担についてもさまざまである。

その他の質問
○職員の交通事故、違反
○合併後の入札状況

創設
**市長／事業、規模、内容
 時期調整中**

**住宅リフォーム
 助成制度**



堀 廣子議員

堀 安心リフォーム推進協議会設立の進み具合はどうか。
 市長 年内に第一回目の協議会、その後数回の協議会を開催する予定。
 堀 県内で12市がリフォーム助成事業を実施し、大きな経済効果をあげている。



▲介護保険のリハビリサービス

助成制度を実施する考えはあるか。
 市長 助成制度の創設について、事業規模、内容時期などを調整している。

介護保険料の負担軽減
 市長／次期介護保険事業計画で検討

堀 介護保険料が高く、年金生活者は負担が重く大変だという声が多い。保険料は住民税の課税状況に応じて6段階に設定されている。所得段階を細かく設定

し、被保険者の実態に適応した保険料となるよう負担軽減できないか。
 市長 高齢者等実態調査の集計結果を参考に次期介護保険事業計画を策定する中で検討する。

その他の質問
 ○指定管理者制度の見直し

谷口 市長の実績について旧3町においては格差のない平等な町づくりがなされたと評価している。公約達成率87%とあるが自己評価も含めて実績を具体的に示せ。
 市長 合併後は始良市としての基礎を作る努力をしてきた。新市まちづくり計画と第一次始良市総合計画に沿って概ね公約は達成した。
 「始良市」全体の発展のために市長として私心を捨て公正公平に確固たる信念のもと、ぶれることなく取り組んできた。



谷口義文議員

市長の評価
実績
 市長／概ね公約は達成

総合体育館誘致
 市長／働きかける

谷口 総合体育館誘致について要望書を県に提出後の動きが見られない。他市に遅れをとっているのではないか。他団体等との協議も含め今後の取り組みを示せ。

市長 是非誘致を成功させて欲しいとの多くの市民の激励もあり、11月8日付で関係6団体の長との連名で要望書を県宛に再提出した。
 今後は、地権者の要望や県の動向を見定めながら機会を見逃すことのないよう働きかけていく。

その他の質問
 ○宿泊施設と企業進出



▲誘致された企業（デリカフレンズ）

あん質問な いけんなった

追跡

空き家対策

市内各地に点在する空き家の有効活用に空地・空き家バンク制度を設けられないか。

(平成25年3月議会一般質問)

答弁 所有者と移住希望者等を繋ぐ仕組みの空き家バンク制度を、平成25年度には開始する。

平成25年12月、始良市と宅建協会・不動産協会が物件仲介で協定締結した。空き家バンク制度を平成26年4月に運用開始する。

*空き家バンクとは？

始良市へ居住することを希望されている方に、市が収集した空き家の情報を紹介し、始良市への定住促進や空き家の有効活用・地域の活性化を図ります。

空き家の仲介は、市と協定を結んだ鹿児島県宅地建物取引業協会および全日本不動産協会鹿児島県本部に所属する始良市内の会員業者が行います。

宇都トンネル

(蒲生町下久徳と鹿児島市吉田境)

近年、宇都トンネルの交通量が著しく増加してきているが、普通乗用車の離合さえも容易でない。宇都トンネルの早期整備が必要ではないか。

(平成24年3月議会一般質問)

答弁 第1次総合計画の期間内で実施を検討する。

平成25年度に概略設計を実施し、早期着工に向けて、鹿児島市と協議を継続している。



▲離合が困難な宇都トンネル

語る会

市議会と交流で 市政に参画

交えて熱い意見交換

始良市議会では、市民の皆様の多様な意見を市政に反映させるため、「議会と語る会」を実施しています。

多くの皆様に参加していただくことで、皆様と市議会が始良市の施策についての思いを共有し、市政への参画に繋がり活力ある市政の発展に役立つものと考えます。

第3回目の「議会と語る会」は、12月7日・8日とし、『もっと市民の方との交流を広げよう』とのことで会場をまち中心から離れた3地区（蒲生川東地区、始良中津野地区、加治木永原校区）で開催いたしました。

51人のご参加をいただき、多面にわたり市政に向けた活発な意見が交わされました。



▲中津野自治公民館（21人参加）

市政全般に対する 主な質問・意見

- 質問** 借地しているグラウンドゴルフ場の返還の要請がある。別府川の河川敷を用地として利活用できないか。
- 回答** 県の管理河川であり、県との協議を市へ要請する。
- 質問** 川東中から鶴木原団地へ通じる道路はあまりにも狭い。拡幅を要望する。
- 回答** 現地を確認・把握して市へ要請する。
- 質問** 蒲生の戦没者の慰霊碑は遺族会の高齢化で管理ができなくなった。行政で何とかできないか。
- 回答** 政教分離で行政は関与できない。社会福祉協議会等に関わることが好ましいのではないか。
- 質問** 下久徳地区運動公園に接する土地は今まで様々な苦情が出ている。土地が盛土され森のようになっていて。今後どのように対処するのか。

回答 現在、この土地は市の開発公社の所有になっている。開発推進を要請していく。

質問 始良の中津野自治公民館にある仏壇、仏具の管理費用を公費で負担できないか。

回答 自治会館施設に関する補助制度はあるが、神社・仏閣など政教分離の原則があるため行政は踏み込めない。

質問 加治木地区の菖蒲谷く辺川下線は避難道路としての拡幅整備を要望する。

回答 関係部署に要請していく。

質問 三船小学校運動場の排水が悪く苦慮している。抜本的な改良を要望する。

回答 始良地区は山田小学校も同様で排水対策は遅れている。年次計画で優先して行うよう要請していく。

質問 加治木地区の永原く市野線の道路拡幅はできないか。

回答 現在、補助率の高い有利な事業を模索している。

質問 蒲生地区の共同墓地に上水道を設置したい。

回答 公共用であれば可能と思われる。水道事業部と協議する。



▲永原小校区公民館（14人参加）

第3回 議会と

51人の方と膝を



▲川東いきいき交流センター（16人参加）

市政への提言

○鳥獣被害に対し、わなを掛けても捕獲できない。市職員による鉄砲隊、捕獲隊を組むなどの対策を要望する。

回答 個人、地域の対応は限界がある。なかなか名案が出ないが、議会も含め研究、検討する。

○蒲生地区の町下の市営住宅団地内に街灯がないので設置を要請する。

○市の文化財指定の蒲生どん墓の清掃は、笹葉などの処理で地区の老人クラブも限界にある。市で隣地の竹林を買収して、駐車場に活用できるように要望する。

回答 所有者の土地譲渡の意志が明確でなければならぬ。

○始良の大山地区にゴルフ場の計画があった。市の保有地も含まれ眠っている。調査して企業誘致等に活用できないか。

回答 業者の所有地を現在交渉中で、公有財産を合わせ利活用を図る方向である。

議会に対する 主な質問・意見

質問 議員定数を24人とした経緯の説明を。

回答 定数は、特別委員会の中で協議を重ね、市民3000人の意向調査で40%の回答があった。内訳は1位25人、2位30人、3位20人であったが、25人とした場合、議長を除く採決で同数があり得



▲地域から提示された課題の現地調査をする委員会

るため、24人に決定した。

質問 議会は首長の暴走をチエックするのが役割。条例等の修正はあるのか。それなどを報告するのもこの語る会の意義と捉えるがどうか。

回答 定数条例など多くの議員発議をしている。移住定住促進条例など修正もしている。

質問 議員は10年後の始良市をどのように考えているか。火葬場の場所のあり方、消防署の位置についてどう考えるか。

回答 各議員が市の総合計画・実施計画に多くの提言を行っている。

消防署は現在地に建て替える。火葬場は現在の位置の前に建て替えるとの検討委員会の報告はなされているが、最終的には今後の課題である。

語る会当日の アンケートから

○各常任委員会報告は理解できました。語る会での要望事項等の提案は地域で事前に検討すべきであると感じました。

○議会への地区の陳情の会になった。それも大事であるがもっと大きな視点に立った語る会にしてもらいたい。

○市議会側の各回答がその場限りで終わるのか、本気で実行に移すのか、確約が取れないもどかしさを感じた。実行実施を希望します。

○定例議会では傍聴者は意見が出せない。住民参加型の議会運営を半日でも良いので実現できないか。

紙面に掲載した質問、提言は、一部を抜粋したものです。地域の課題（事前に議会に通告）を含め、多くの意見をいただきました。

市政へのご意見は、執行部にしっかり届くようにつなぎ、議会への意見は今後、議論を深めてまいります。

先進地に学ぶ

委員会
レポート

熊本県玉名市／水俣市 市民福祉

認知症施策／環境施策

平成25年7月30日から8月1日、熊本県玉名市の認知症施策と水俣市の環境施策を調査しました。

- ① キャラバンメイト養成
- ② サポーター養成講座
- ③ 認知症応援団養成講座
- ④ 認知症フォーラム
- ⑤ 高齢者見守り情報登録の支援・予防策など多様な施策があります。

日本の環境首都
水俣市は平成11年ISO14001の認証を得し、平成13年にはエコタウンの認証を受けています。

また平成20年には環境モデル都市に認定され、平成25年には日本の環境首都の称号を取得しています。

分別回収は現在24品目で、資源物は50世帯に1か所の割合でステーションを設置し、住民が管理しています。

研修を終えて思うこと
水俣市は水俣病に学び、命と水を守るために、行政・市民・産業が一体となつて環境問題に取り組んでいます。

始良市も回収での成果はありますが、課題も残っています。

また、認知症対策は始良市は先進的な取り組みがされていますが、対象者が増加傾向にあり、社会全体で取り組んでいく必要があります。



▲「笑顔で支えあうまち玉名」をキャッチフレーズとし、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

山口県防府市 議会改革

議会運営



▲ライブも録画もインターネット配信されている防府市議会

平成25年10月17日、山口県防府市で議会基本条例に基づく議会改革を調査しました。

進む議会改革
防府市の人口は11万8千人、議員定数は25人で、4つの常任委員会で構成されています。

議会改革の先進地で、日本経済新聞社の議会改革度調査では全国16位、中国四国地方ではトップに評価されています。

開かれた議会を目指し、さまざまな施策を実施しています。

議会報告会
15地区で年1回以上、意見等への回答をHPへ掲載、概要は議会だよりに掲載。

インターネット中継
全ての本会議で実施（ライブおよび録画）。

議会懇談会
概ね10人以上の団体からの申し込みで開催。

公聴会および参考人制度
議会懇談会や請願・陳情などを政策提言と位置づけ、その意見や知見を審査等に反映させるため、公聴会・参考人制度の活用

用を努める。
議員間討議
質疑後、討論の前に行う。議案等の審議過程において議員間で十分議論を尽くす。

○調査を終えて
この報告は主なものですが、その他、防府市の議会運営は非常に示唆に富んだ内容でした。

特に議会懇談会や議員間討議は議会活性化に一役買っており、大変参考になる取り組みで、始良市議会としても今後検討していくべきと考えます。



地域に見守られながら、 体験を通して生きる力を伸ばす

森の学校 楠学園代表 藤浦さやかさんに聞く

森の学校 楠学園は、蒲生町新留地区の山間にある小さな認可外の私立学校（フリースクール）です。

今回は学校経営、地域活動に奔走する楠学園の代表、藤浦さやかさんにお話を伺いました。

蒲生でフリースクールを始めた動機は？

以前、県外で小学校の教員をしていたのですが、時代の変化によって学校の枠に収まりきれない子どもが増えているのを感じていました。エジソンのように、豊かな才能があっても集団生活になじみにくい子もいます。

子どもたちの選択肢をふやすため帰郷を兼ねて学校を始めることにしたのですが、鹿児島市から通学可能な範囲をあちこち見て回ったところ、蒲

生の人と空気に惚れ込んでここにしかない！と感じました。官民に関わらず人と人がつながって、いって本当に素晴らしいですね。

現在、どのような活動を されていますか？

体験を通して力を伸ばすNPO立の小中学校、自然の中でのびやかに過ごす「森のようちえん

つくしんぼ」、みんながつくっていく冒険遊び場「かむおん」の3つが柱です。いずれも、子どもたちが主体的に動けるよ



▲大学院卒業後、木工家をめざしながら知的障害者施設職員・旅人・小学校教員・起業家支援などを経てきた藤浦さん。幅広い知見で子どもたちと真正面に向かい合っています。

うな場を目指しています。活動をを通して子どもたちや地域にどのようなことを感じていますか？

子どもの秘めた力には本当に驚かされます。大人の持つ常識や価値観の枠にはめるのではなく、ひとりの人として尊重し、

ただ信じて見守ってあげるだけでこんなに力を発揮するのかと感心する日々です。

新留地区の方が子どもや孫のようにあたたかく声を掛けてくださるので、子どもたちも安心していられるでしょうね。地域共同体というか、みんな

なで生きる可能性のあるところだと感じています。

最後に一言

全国的にオルタナティブスクール（フリースクール）への誤解や偏見が根強い中、新しい学びの形態を可能性として受け入れていく始良市は、かなり先進的であるといえます。

今後も官民一体となり、どうすれば子どもたちや

地域住民がよりいきいきと輝くのかを第一に考えて、みんなで力を合わせていきたいですね。

お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

今後も学校経営、地域活動と幅広いご活躍を期待しております。

（聞き手 小山田）



▲休校中の新留小学校の校庭で行われた秋の運動会。地区の運動会も兼ねて実施され、地域の多くの方も参加されました。久しぶりに校庭に子どもたちの声がこだました一日でした。

クイズ

ここはどこ？



正解は **蒲生**

応募者数 **66**人

写真は
御飯屋門と御飯屋犬槇
御飯屋門は、蒲生地頭
飯屋の正門で、材木には
クスノキが使用されてい
ます。御飯屋とは現在の
役場にあたるものです。
御飯屋犬槇は、御飯屋
の表庭に植えられていた
木で、樹齢約400年、
樹高10m、根回り4mの
古木です。

正解者5人に図書券

クイズに66人の応募が
あり、抽選の結果、次の
5人の方に図書券を贈り
ました。
(敬称略)

- 山田 トミ (蒲生)
- 笹井 醇子 (始良)
- 和田まり子 (蒲生)
- 花田 節子 (始良)
- 原田まさき (蒲生)

皆さまからのメッセージ

クイズの解答に添えられたメッセージを紹介し
ます。皆様の声を、今後の議会だよりづくりに役
立たせていただきます。

○議員の質問が写真入り
で、答弁までよく解りま
す。各地区の史跡など多
く掲載を願います。
(80代女性)

○ほくの大好きな町だか
らすぐに答えがわかりま
した。
(8歳男性)

○私は、出ている写真を
ここはあそこだ！とか思
い浮かべながら読んでい
ます。すると、より親近
感がわいてきます。
(10代女性)

○議会のネット配信を！
(60代男性)

○議会だよりは、1号あ
たりいくら位掛るのでし
ようか。紙質を落として
でも、経費を削減できな
いものでしょうか。
(70代男性)

○見出し等とてもわかり
やすく、読みやすいと思
います。少し用紙が上等
すぎるのではという意見
も、聞こえてくることも
あります。
(30代女性)

※編集注記
議会だよりの1冊あた
りの単価は95銭です。今
回の号の作成経費は1部
当たり約20円となります。

○議会だよりは、毎回、
隅から隅まで読ませて頂
いております。私たちの
身近な話題で、関心を持
たざるを得ない事項ばか
りです。
(60代女性)

○働く意欲のある親が多
い中、もう少し保育園が
増えれば、もつともつと
始良市が活気づくのにな
あと思えます。
(30代女性)

○いつも議会だより読ん
でいます。何をどう進め
ているのが、よく解り
とても良いと思います。
(30代男性)

○市報は毎日見ているん
ですが、議会だよりはな
んだか難しく、今まで
あまり見ていませんでし
た。解りやすい紙面つ
くりをお願いします。
(30代女性)

※今回もたくさんのご
意見とご感想、市政へ
のご提言等ありがとうございます
ございました。市政へ
の提言については、執
行部へおつなぎしまし
た。解答が出たもの
については、逐次お知
せします。
また次回もご応募・
ご意見を、どしどしお
寄せください。

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります

次回の開会は2月19日予定

編集後記

いよいよ新しい年の幕
開けです。4月には、市
長および市議会議員の選
挙が行われます。私たち
議員の担う役割が、大き
くなっていることを感じ
ます。

平成24年3月には、議
会と議員活動を活発にし
議会活動を通して市民の
声を議会に反映させるこ
とを目的に、議会基本条
例を制定しました。

私たち広報委員は、よ
り解りやすく、読んでも
らえる議会だよりづくりに
目指してきました。

次回からは、新しい体
制で編集活動に入ります。
今後ともよろしくお願
いいたします。(河東)

編集・発行責任者
議長 玉利 道満

広報等調査特別委員会
委員長 河東 律子
副委員長 竹下日出志
委員 有馬 研一
委員 小山田邦弘
委員 笹井 義一
委員 安田 久
委員 湯の原 一郎
委員 湯元 秀誠